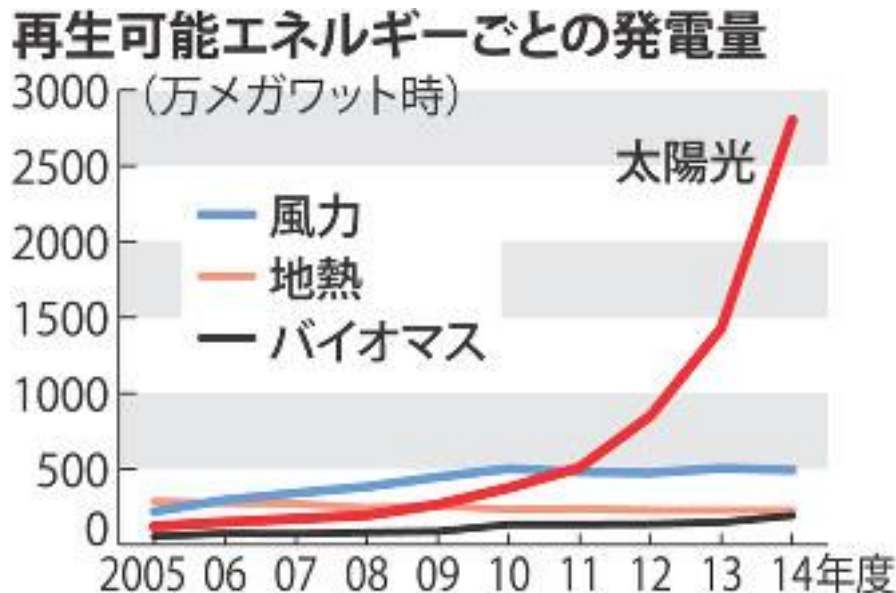


10年で23倍…買い取り制度後、急増

2016年4月2日



再生可能エネルギーごとの電力発電量

固定価格買い取り制度導入などを背景に、太陽光による発電量が最近10年で23.3倍になった。

風力は225万メガワット時から505万メガワット時に、バイオマスは56万メガワット時から196万メガワット時への増加にとどまった。

◇固定価格買い取り制度◇

太陽光や風力など再生可能エネルギーで作った電力を最長20年間、電力会社が決めた価格で買い取る制度。価格は種類ごとに異なり、普及状況などを考慮して経済産業相が毎年見直す。企業向けの太陽光の場合、制度発足の2012年7月に1キロワット時40円だったが、普及が進み16年度は24円に下がった。

<http://mainichi.jp/articles/20160402/k00/00e/040/220000c>